

「でんけん」について

「でんけん」(伝統的建造物群保存地区)制度とは、歴史的な町並みを保存するため、地区を指定して建物のままとりとその一帯を保存する国の制度です。これは、昭和50年の文化財保護法の改正によって生まれました。川越で伝建地区を指定したのは平成11年で、市と住民が話し合い、その範囲を都市計画で、整備の方向性などを保存計画によって決めました。

その後、同年12月1日に、国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)に選定されています。

伝建地区内では、全ての建築物・工作物について、内部のみの改修を除き、外観や看板、門・塀などを要する場合には、市の許可が必要となります。一方、伝統的建造物の修理などに対する助成や、税制の優遇措置などの制度があります。

10年間を振り返って…

川越の伝建地区は平成21年の重伝建地区選定10周年を経て、令和元年で20周年を迎えました。

近年、日本各地で災害が起きていますが、川越でも東日本大震災や菓子屋横丁の火災など、防災について考えるきっかけとなる出来事がありました。そのような中、時の鐘耐震化事業、川越市川越伝統的建造物群保存地区防災計画の改定、地元主催による防災訓練などが行われました。

また、川越町並み委員会が川越市都市景観条例に基づく都市景観推進団体に指定されました。今もなお、住民主体によるまちづくりがすすまられています。

まちづくり年表 (平成22年から)	
平成22年(2010)	小江戸蔵里(川越市産業観光館)オープン
23年(2011)	東日本大震災 川越市歴史的風致維持向上計画認定(歴史まちづくり法) 鍛冶町広場完成 旧笠間家(仲町観光案内所)改修工事完了
24年(2012)	「川越百景」選定
25年(2013)	川越町並み委員会がまちづくり月間国土交通大臣表彰受賞
26年(2014)	川越市都市景観条例施行(景観法委任条例) 川越市景観計画施行 旧山崎家別邸整備
27年(2015)	川越町並み委員会を都市景観推進団体に指定 ウエスタ川越オープン 菓子屋横丁での火災 伝建地区防災訓練を市主催から地元主催へ移行
28年(2016)	「川越氷川祭の山車行事」がユネスコの無形文化遺産に登録 川越市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例施行
29年(2017)	川越市川越伝統的建造物群保存地区防災計画を改定 町並み委員会発足30周年 川越町並み委員会が地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰を受賞 時の鐘耐震化事業完了
30年(2018)	NPO法人川越蔵の会を歴史的風致維持向上支援法人に指定 歴史まちづくり法10周年記念シンポジウム川越大会開催
令和元年(2019)	重要伝統的建造物群保存地区選定20周年 旧山崎家別邸が国の重要文化財に指定 喜多院周辺地区都市景観形成地域指定
2年(2020)	川越市で東京2020オリンピックのゴルフ競技開催

この10年間の伝建地区内の整備

時の鐘耐震化事業



場所: 幸町15番地7
建築年: 明治27(1894)年
規模: 高さ16m
柱間4.5m
鋼鐘約700kg

事業概要
平成25年度 耐震診断
平成26年度 耐震補強工事設計
平成27~28年度 耐震化工事(耐震補強・保存修理)

工事概要
耐震補強と合わせて、明治27年の姿に復元しました。ただし、強度や保存上、現状踏襲とした部分があります。

仲町観光案内所の修理事業



場所: 仲町2番地3
建築年: 明治26(1893)年
工事名: 仲町地域活性化事業
旧笠間家改修工事

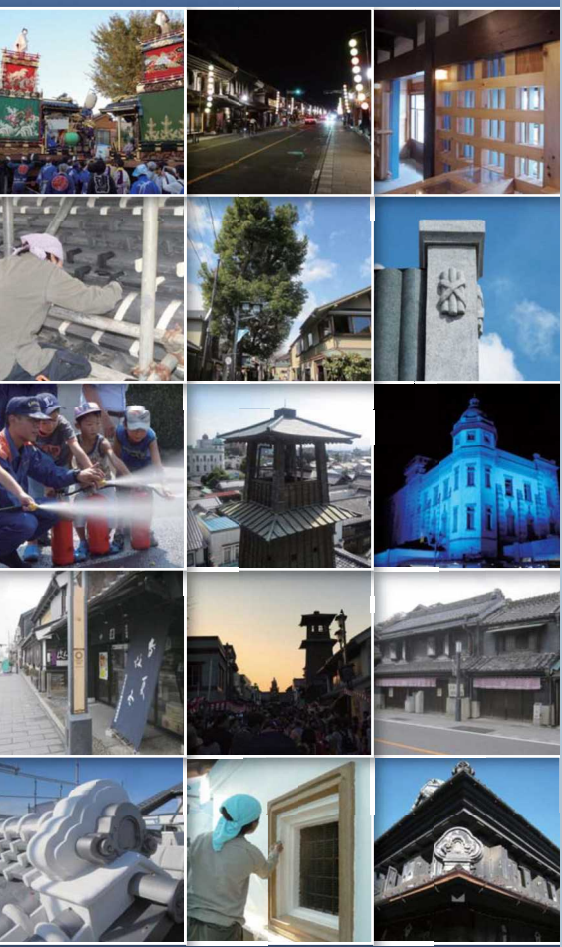
工事年度
平成22年度

工事概要
通りに面する部分の改造により、蔵造りの外観が失われていましたが、復原修理を行いつつ、これに影響を及ぼさないよう耐震補強を行いました。

町並みに合わせて建てられた建物(一部紹介)



でんけん川越 重伝建地区20周年



でんけん川越

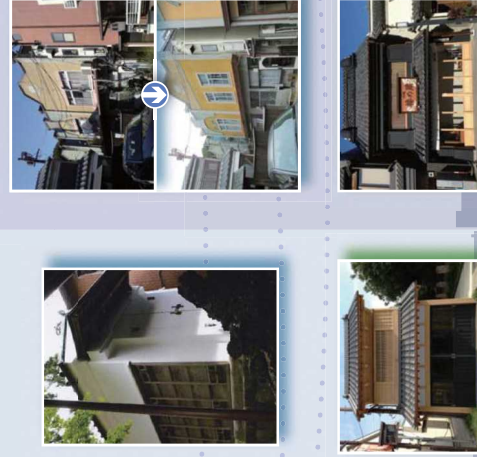
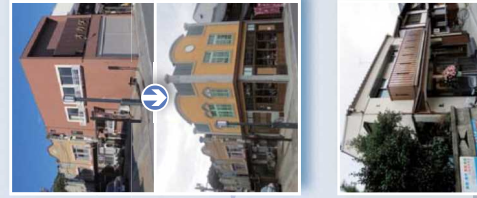
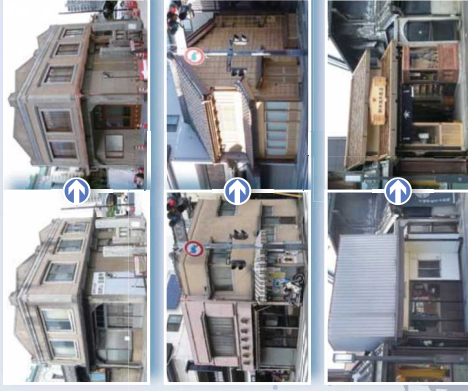


川越市川越伝統的建造物群保存地区

まちづくり年表 (平成21年まで)	
昭和46年(1971)	大沢家が重要文化財指定 / 旧万文取り壊し反対運動 …この間に、専門家による町並み保存の提言、川越青年会議所の活動
50年(1975)	伝統的建造物群保存対策調査
52年(1977)	蔵造り資料館オープン …この間に、一番街周辺のマンション建設反対運動
55年(1980)	川越の町並みとデザインコード調査
56年(1981)	蔵造り商家16件を市指定文化財に指定
58年(1983)	川越蔵の会発足
60年(1985)	川越一番街商店街活性化モデル事業調査 川越市歴史的地区環境整備街路事業(歴まち)調査
61年(1986)	札の辻ポケットパーク整備
62年(1987)	一番街町並み委員会発足
63年(1988)	一番街づくり規範制定 / 新富町まちづくり協定制定
平成元年(1989)	川越市都市景観条例施行 / 観光市街地形成事業開始 歴まち事業開始(菓子屋横丁通り線から)
2年(1990)	川越駅東口再開発竣工 / 本川越駅ビル竣工 川越市立博物館開館
4年(1992)	一番街電線類地中化事業完了 「川越景観百選」選定
5年(1993)	十カ町会発足
6年(1994)	鐘つき通り線電線地中化事業 / 大正浪漫委員会発足
7年(1995)	大正浪漫夢通りアーケード撤去
8年(1996)	「時の鐘」残したい日本の首風景百選選定
9年(1997)	十カ町会から伝建地区要望書提出
10年(1998)	川越市伝統的建造物群保存地区保存条例制定
11年(1999)	川越市川越伝統的建造物群保存地区及び中央通り線の縮小変更の都市計画決定 重要伝統的建造物群保存地区に選定 グッドデザイン賞特別賞「アーバンデザイン賞」受賞
12年(2000)	観光サイン整備 都市景観大賞都市景観百選受賞(建設省)
13年(2001)	旧川越織物市場保存運動 / 旧鏡山造を市が取得 TMOチャレンジショップ開店 川越市川越伝統的建造物群保存地区防災計画策定
14年(2002)	伝建地区防災事業開始 / 川越市立美術館開館 川越蔵の会NPO法人化
15年(2003)	川越市中核市移行 / 川越まつり会館開館 町並み委員会が日本都市計画家大賞受賞
16年(2004)	川越十カ町地区都市景観形成地域指定
17年(2005)	「川越氷川祭の山車行事」重要無形民俗文化財に指定 十カ町会がまちづくり月間国土交通大臣表彰受賞
18年(2006)	全国伝統的建造物群保存地区協議会川越大会開催
19年(2007)	クレアモール・八幡通り周辺地区都市景観形成地域指定 一番街歩道整備、街路灯新設 天皇皇后両陛下、スウェーデン国王・王妃両陛下川越訪問
20年(2008)	ライブアート2008(観光ルネッサンス事業)
21年(2009)	伝建地区の保存団体として「川越町並み委員会」再発足 重要伝統的建造物群保存地区選定10周年 中央通り周辺地区がクレアモール・八幡通り周辺地区都市景観形成地域に編入



10 年を振り返って...



この10年間の現状変更行為許可及び保存事件件数

年度 (年次)	現状変更 行為許可	修理事件数	修景件数	高層件数	修景総理	修景総理 件数
21	29	4	0	2	4	4
22	25	4	0	3	4	4
23	33	3	0	0	12	8
24	27	5	0	2	8	6
25	38	5	0	4	6	12
26	52	6	0	3	12	5
27	48	4	1	6	5	4
28	37	3	0	2	4	6
29	37	5	0	1	6	5
30	50	2	0	1	5	66
計	376	41	1	24	66	